

2023年10月2日

学生の皆さんへ

生成系 AI の利用について

倉敷芸術科学大学
教育開発センター

大学教育における ChatGPT 等の生成系 AI（人工知能）の取扱いについて、積極的な活用による有効的な学びや、適切な利用方法の模索などが広まりつつあります。ただし、現時点では技術的限界や法的課題も残されていることから、その信頼性や危険性についても議論されています。

たとえば、生成系 AI の出力内容には、虚偽の情報や、著作権法などに違反する情報が含まれている可能性があり、また生成系 AI への入力を通じて、機密情報や個人情報等が意図せず流出・漏洩する可能性もあります。

倉敷芸術科学大学の学生の皆さんは、下記〈授業科目における生成系 AI 利用の注意事項〉を確認したうえで、皆さんの学修や能力向上に資する有効的な利用、また法的・倫理的に適切な利用に努めてください。

〈授業科目における生成系 AI 利用の注意事項〉

(1) 科目担当教員の許可・指示の範囲内で利用してください。

授業内および授業外の学修時間内における生成系 AI 利用の可否について、科目担当教員の指示にしたがってください。また許可されて利用する場合も、利用する場面・内容・方法などについて具体的な指示や注意事項があれば、それにしてください。

(2) 履修規程所定の不正行為とならないように利用してください。

本人による作成を前提として成績評価に用いられるレポートや課題等において、生成データをそのまま流用することは、本学履修規程第6条（成績評価の方法）および第7条（不正行為）に定める不正行為に相当します。科目担当教員の許可・指示のもとで生成系 AI 出力内容を利用・引用する場合でも、使用した生成系 AI の名称や引用箇所等を明示するなど、不正行為とならないように注意して利用してください。

(3) 生成系 AI 利用について主体的な模索も継続してください。

生成系 AI の社会的位置づけは、今後の技術的進歩や利用拡大といった推移にともなって変化していくことが予想されます。本学としては、そうした変化に対応しながら、生成系 AI の有効的で適切な利用について検討を継続していきます。皆さんも、どのように利用すれば自身の学びや能力向上に有効的なのか、またどのように利用すれば法的・倫理的に適切なのか、主体的な模索を継続してください。

以上